放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年9月　　事業所名　　放課後等デイサービス虹色スケッチ

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	ここはどういうスペースかを職員全体で子どもたちに伝え、それが分かるようになってきている。コロナ感染予防の徹底。	スペース自体は適切と考えるが、クールダウンする場所が必要となるため、適宜場所の確保をする。
	2	職員の配置数は適切であるか	利用者数を常にチェックしながら、シフトを組み、適正にこれに対応する。	急病や数日に渡り休む等理由の職員が複数出たときは会社全体で配置を変更する。求人募集。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	各段、バリアフリー対策はされている。	適切です。段差にスロープを設けています。現状、特別問題はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	日々のミーティングでPDCAを行っている。	評価に基づいて改善したつもりでも不十分な場合があり、再度PDCAサイクルを行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向け評価を行い、業務の改善を行っている。	改善内容について、保護者へお知らせをしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページにて公開。	ホームページで公開。毎月「通信にじ」を発行しているため、声かけを増やし、保護者との共有に努める。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	ホームページにて公開。	職員間で評価結果を共通理解し、業務改善についてのミーティングを行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	研修参加者は事業所へ研修報告をすることでフィードバックしている。	虐待防止研修、職員のスキルアップ研修等様々な研修の機会が確保されています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	全職員が共通理解のもとに計画を作成している。	全職員がより深いニーズの把握、課題の分析、サービス、計画へ反映させていく必要があります。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールの活用を心がけている。	事業所独自のアセスメントシートを使用し、状況は把握されているが、保護者との連携、確認しながら業務に反映させていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	事業所の目的を意識しての立案時に全職員で試行錯誤している。	職員間での意見の出し合い、季節、事業所の目的に沿うものとして立案する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	必要な活動は表現や目線を変える等工夫する。	必要性のあるもの、有用であるものをプログラムに組み込む。端的なものを安易に組み込まない。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	全体と個別での時間の区切りを明確にして分かりやすくする。	活動に必要な所要時間、レベルの難易度等を考慮して課題を設定して支援にあたる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別と集団、それぞれの活動の意味、目的を明確にする。	保護者からの情報、職員の把握している状況などを勘案しながらサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	前日の支援終了後に、その日の反省と翌日の予定を確認している。	よりきめ細やかな支援内容の把握、役割分担等の確認が必要とされます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	共通理解、情報の共有、同一支援を徹底している。	打ち合わせ時間を確保し、共有内容を深める必要があります。話し合いの機会を増やしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用者記録が支援計画の指標の礎となることの職員の認識。	利用者記録を記入し支援の検証、改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	職員間での相互理解に努める。	定期的なモニタリング、サービス計画の見直しの必要性の判断に努めている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	マンネリ化を避け、それぞれに意をもつよう取り組んでいる。	ガイドラインの総則をふまえ、基本活動を複数組み合わせている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	極力右記２者が参加するようにする。	児童発達支援管理や管理者が参加するなど複数で参加したい。

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	先生方とのコミュニケーションをよくとる。	学校からの下校時間、行事予定等の提出を受けて送迎やサービス計画に反映している。また、トラブルの発生時等の学校との連携に努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	契約時明確にする。	医療的ケアが必要な利用者は通所していないが、受け入れる場合は職員配置、主治医、協力医療機関と体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	つながりある支援に努める。	以前利用していたサービスと連携をとって相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	保護者の確認を得て行う。	要求があった場合には常時情報の提供できる体制は整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	機会を得る度、積極的にこれに参加する。	新型コロナウイルスの影響で行えていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	情報の収集に努める。	今年度は新型コロナウイルスの影響にて回避しているが、開催されるイベントには積極的に参加する。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	情報の収集に努める。	要請はなく、参加はありません。新型コロナウイルスの影響もあるが、参加する意向はあるため、発信もしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	新型コロナウイルスの影響より電話、メールのやり取りが増やしている。	アセスメント、モニタリング時以外でも直接状況等を口頭で伝えてもらったり、緊急の場合電話で連絡を取り合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	参加者の増加のための声かけをする。	保護者に対してペアレントトレーニングをしています。現在は新型コロナウイルスの影響で行えていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	保護者との会話のなかでもこれに触れていく。	利用契約書を取り交わす時、文書を読み上げ説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者との交流のなかからもこれを導き出していく。	子育ての悩み、そのほかの相談について適切に応じて必要な助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者参加可能な活動、行事の折りにはこれを行う。	父母会の活動支援、保護者会等の開催は行っていないが夏祭り等で働きかける。今年度は新型コロナウイルスため実施できない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	施設長から更に上長へも報告している。	保護者からの苦情があった場合は施設長に報告相談をして迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	請求書等と同封にて送管している。	定期的に会報を発行し、保護者に届けています。ブログを毎日更新する等ネットを活用した情報発信も行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	職員の個人情報の漏洩にも注意している。	個人情報には十分注意して部外者に知られないようにしている。個人情報の記載された書類は書庫への保管施錠を行っている。不要な書類はシュレッダーを掛けています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要時は行政とも連携をとり、支援する。	子どもに関してはイラストを使って（構造化）意思疎通を行っている。保護者には傾聴、具体例を示しながら情報を得るようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	小さな活動では、地域清掃、町内の清掃活動もある。	毎年夏祭りを開催しています。また、外部からの講師を招き、児童に対する支援等について講演会を行っています。現在は新型コロナウイルスの影響にて行えていない。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各マニュアルと保護者との距離を詰める。	各種マニュアルを作成し事業所内に設置しています。保護者からの関連する質問があれば丁寧に回答をしています（各マニュアルは掲示してある）。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	活動にて避難経路図を作成。貼付している。	活動の中で定期的に地震や火災などの避難訓練を行っています。その他職員向けに防犯訓練を実施しました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	全職員がこれを必須とし、熟知、実行している。事業所内研修を実施している。	虐待防止研修を外部講師を招いて継続的に実施しています。

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
特の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束は絶対に行わないと職員間で共通理解している。	身体拘束は一切しておりません。 生命に危険を及ぼす可能性がある場合はこれを阻止し、記録に残していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーにはアセスメントより十分注意しリスクを避ける。	アセスメントで保護者から子どもの食物アレルギーを確認しているが医師の指示書に基づいている訳ではありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	都度、社にも報告。全体として捉える。	ヒヤリハット事例は文書化し職員間でその都度共有しているが事例集の作成に至っていません。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年9月　　事業所名　放課後等デイサービス虹色スケッチ

		チェック項目	実数			割合
			はい	いいえ	合計	はい　いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	4	100% 0%
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	4	100% 0%
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	4	100% 0%
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	4	100% 0%
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	4	100% 0%
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	4	100% 0%
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	0	4	100% 0%
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	4	100% 0%
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	4	100% 0%
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	4	100% 0%
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	4	100% 0%
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	4	100% 0%
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	4	100% 0%
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	4	100% 0%
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	4	100% 0%
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	4	100% 0%
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	4	100% 0%
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	4	100% 0%
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	0	4	100% 0%
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	4	100% 0%

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	4	100% 0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	0	4	100% 0%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	4	100% 0%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	4	100% 0%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	4	100% 0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	25% 75%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	4	50% 50%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	4	100% 0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	4	100% 0%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	4	100% 0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	4	100% 0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	4	100% 0%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	4	100% 0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	4	100% 0%
	35	個人情報に十分注意しているか	4	0	4	100% 0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	4	100% 0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	4	75% 25%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	4	100% 0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	4	100% 0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	4	100% 0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	4	100% 0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	4	100% 0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	4	100% 0%